



# 市民が主人公

2024年  
12月  
17日

発行: 日野・市民自治の町をめざす会  
〒191-0062 日野市多摩平5-3-7 第3モリヤコーポ103  
携帯: 070-6965-1435  
e-mail: se.aruga@gmail.com  
HP: <https://aruga-hino.wixsite.com/aruga/>

本日12月17日

日野市議会2024年第4回定例会最終日です。12月3日行ったあるが一般質問の一部を掲載いたします。

河内元副市長問題に端を発し、大問題となった日野市政の腐敗。その際にも権力由来のハラスメントなくすことができてきされていましたが、未だに改まっていません。

## 日野市議会議員 あるが精一



### ・職場の心理的安全性を壊す理事者等による一連の重大な行為については是正を求める

ハラスメント防止講習等の現状

第3回定例会において元副市長問題ともからめ公益通報者保護法・内部通報制度についても質問し、おおむね制度が機能しているとの答弁をいただきました。兵庫県政を巡り、告発した方が自死され、犯人捜しをしたとされる側の人物が県議会で全会一致で辞職を求められながら、失職したのちの県知事選でいわくつきの当選をしている現状を見ると、制度そのものがあっても告発する側は大変な勇気と決断なくして告発をできない状況にあるのではないかと思います。

実は本議会を前に、職員の方から内部告発がありました。

### ・職員からの訴えと事態認識について

職員の方から訴えがあった内容を時系列に述べたいと思います。

ハラスメントを含む非違行為が行われていることの告発です。非違行為の期間についても明示されていますので最初にのべてから訴えの内容を読みます。全部で10の訴えがあったのですが、ここでは8つの訴え

とします。加害の立場に立っている職員をここではA氏とよびます。

また、プライバシー保護の観点から一部文書を削っている部分があることも初めに断っておきます。

問題の起きている職場において、非違行為が行われていても報復を恐れ、そのことの指摘や注意ができない職場になっていたようです。

訴えていらっしゃる職員の方たちは

「すべての職員が権力の誇示に委縮することがない健全な職場環境が一日も早く取り戻せることを心から願っています」と述べていることをぜひご理解いただきたいと思います。

思うに訴えの内容からすれば、案外こうした問題は周りに知れ渡ると思いますし、期間の長さを考えると、何らかの形で、「どうにかして欲しい」との声は理事者らにも上がっていたのではと私は推察しますが、残念ながら、これらの非違行為が止まることなく今日に至っていることは誠に残念です。それではよみます。

### ◆5年前頃から今年4月頃までのこと

・普段は自転車通勤だが、通勤に自家用車を使い有料駐車場に止め、私的に何度も一時間の減免処理をしていた。

・これらのことを多くの職員が目撃していたが、背後に存在している権力への恐怖心から、報復を恐れ黙認するしかない状況であった。

◆ 5年前頃から現在までのことです。

- ・ある事業に反対したために叱責され、移動させられた管理職について、A氏は、  
、何度も、その管理職の名前を上げて、「ある理事者に怒られた」、「ある理事者に異動させられた」と周囲の職員に吹聴していた。
- ・また、A氏は、ある事業に反対したほかの複数の管理職を批判し続けていた。
- ・このことを聞かされた多くの職員は、いつ自分たちに降りかかって来るかの恐怖を覚えている。

◆ 5年前頃から現在までのことです。

- ・A氏は、自分の意に沿わない職員がいると徹底的に批判をして、職場で周囲に吹聴していた。
- ・多くの職員は、それを聞かれることが苦痛で耐えがたく、また、いつ自分に降りかかってくるのかの恐怖を覚えてた。

◆ 5年前頃から現在までのことです。

- ・A氏は、自ら複数の職員の名前を挙げて、「私が人事異動で引っ張ってきた」と職場で得意げに吹聴していた。
- ・また、短期間で他課に異動した複数の職員については、「仕事の資質が無かった」等と批判し、周囲に吹聴していた。
- ・多くの職員は、それを聞かされるのが苦痛で耐えがたく、また、いつ自分に降りかかってくるのかの恐怖を覚えている。

◆ 昨年4月から現在までのことです。

- ・A氏は、執務時間中に管理職を呼び出し、二人きりで部屋に籠り、長時間話込んでいることが多く、A氏が管理職を叱責している声が職場に漏れることがしばしばあった。
- ・そして、多くの職員は、そこで自分のことが批判されているのではないかと常に不安になっており、職場の心理的安全性は崩壊している。

◆ 昨年4月から現在までのことです。

- ・A氏は、執務時間中に長時間の無駄話ばかりをし、多くの職員は仕方なく、その話を聞かざるを得ず、仕事が進まず困惑している。
- ・また、A氏は、執務時間中携帯電話を必要以上に操作していたり、居眠りしている姿を多くの職員は何度も目撃している。
- ・しかし、多くの職員は、権力への恐怖心から、報復を恐れ黙認するしかない状況である。

.....

以上です。

正直、驚きました。個人レベルというより、職場が物言えぬ職場となって、不安におびえているような現状がある。しかも元副市長問題が大問題となっている最中で起きているわけです。これはどういうことか深刻にとらえなくてははいけません。

現状認識をお伺いしたいと思います。

- ・職場環境を改善するために  
ハラスメント行為を一刻も早く止めなければならないし、その対応が求められている。  
現状認識をお伺いしたいと思います。

さて、シン・ヒノシヤクショ 『想いをカタチに』プロジェクト など 職場をよくしようと取り組まれていることは承知しておりますが、こうした取り組みが果たして職員から受け入れられるか理事者は一度立ち止まって真剣に考えるべきだと思います。

それぞれ見解をお伺いしたいと思います。最初に教育長お願いします。

それでは波戸副市長お願いします。荻原副市長お願いします。

大坪市長お願いします。

あるが一般質問を録画映像で視聴する場合は右QRコードをクリック

